

事業番号	05 13 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検
事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部 課・室
		実施期間	S22 ～ E-mail yakuji@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

1 長野県内には、医薬品医療機器等法による許可を受けた事業所又は届出された事業所（以下「医薬品等事業者」という。）が約9,000ある。医薬品等の製造等には、有効性と安全性を確保するために、厳格な管理が義務付けられているが、最近では製造業者が決められた規則から逸脱するなどし、行政処分を受けるなど問題となっている。そのため、医薬品等事業者を監視し、適切に医薬品等が取扱われていること確認しなければならない。

また、患者が医薬品を適正に使用するためには、薬剤師による丁寧な説明が必要であるが、長野県の薬剤師は不足（人口10万人あたり全国255.2人に対し長野県224.8人）しているため、確保していく必要がある。

2 医療に使用される輸血用血液製剤等の原料として必要な血液量を確保し、県内で使用される血液の安定確保を持続的に図る必要がある（R4 献血目標達成率95.3%）。少子高齢化が進展するなかで、将来の献血者数を確保するため、10～30代の若年層への啓発が必要である。

3 依然として大麻・覚醒剤の薬物乱用は後を絶たない状況であり、全国的にも令和4年度の大麻事犯検挙者に占める少年率は17.1%と若年層への薬物乱用が懸念される状況にある。このため、若年層に対する薬物乱用防止啓発の推進が必要である。

4 新型インフルエンザによる感染症が流行した場合、長野県では、286,200人分の抗インフルエンザ薬が必要と考えられているが、流行時には品薄になることが多く、市場に流通している量では対応できないことが考えられている。このため、流行に備え、抗インフルエンザ薬を持続的に確保しておくことが重要である。

また、地震等の災害時には、交通障がい等の発生により、必要とされる医薬品等が供給困難になることが予想されることから、各地域で使用、必要とされることが多い医薬品等を常に確保しておく必要がある。

2 事業目的

製造・販売される医薬品等の品質、有効性や安全性の確保、医薬品の適正使用及び違法な薬物等への対策、輸血用血液製剤等の確保及び、緊急時の医薬品等の体制整備などへの持続的な取組により、県民が安心して暮らすことができるようにする。

3 事業目的を達成するための取組

① 医薬品等の品質・安全性等の確保及び適正使用環境整備

- ・（一社）長野県薬剤師会あるいは地域薬剤師会に事業の一部を委託し、専門家による「薬剤レビュー」研修会（ワークショップ）を開催する。
- ・原油・原材料価格の高騰に直面する薬局の安定的なサービスの提供を支援するため、光熱費等の価格高騰分の一部を助成する。

※その他の事業は当初予算のとおり

② 若年層への献血啓発
当初予算のとおり

③ 若年層への薬物乱用防止啓発
当初予算のとおり

④ 緊急時の医薬品等管理・供給体制の整備
当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	薬事監視実施率	%	29.0	36.5	↗	38.4	↗	30	△	医薬品医療機器等法による許可年限は5年もしくは6年が多く、定期的な監視として許可年限の中間時と更新時に行うこと（3年毎）を目標とした。	
②	献血目標達成率	%	102.4	100.6	↘	95.3	↘	100	△	毎年策定される長野県献血推進計画に対する献血目標達成率を目標値とした。	
③	薬物乱用防止講座実施校数	校	38	65	↗	55	↘	60	△	若年層に対する啓発指標として、薬物乱用防止講座を、県内の高等学校の半数を毎年実施することを目標値とした。	
④	抗インフルエンザ薬備蓄目標量達成率	%	100	100	→	100	→	100	△	国からインフルエンザの流行予測等から備蓄目標量が示されており、この量を備蓄できるよう目標値として設定した。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	該当なし										
1-6①	県民生活の安全確保	該当なし										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計 （予算現額）	うち一般財源	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額				
R5年度	0	64,643	91,630	91,630	156,273	23,403	△	15.5
R4年度	0	182,760	96,953	△	279,713	155,124	△	15.6
R3年度	14,297	85,083	55,069	△	154,449	92,487	135,625	15.6

事業名	医薬品等の安全確保・適正使用の推進	部局	健康福祉部	課・室	薬事管理課
-----	--------------------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
1	医薬品等監視指導事業		18,454 千円	21,178 千円	予算現額 29,030 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	許認可事務及び監視指導	直接	・医薬品等の品質、有効性及び安全性を確保するため、薬事関係許認可事務（GMP等実施状況調査を含む）及び監視指導（立入検査及び収去試験）を実施 ・国のPIC/S加盟に伴い必須となったGMP調査体制を整備するため、GMPリーダー調査員の継続的養成等を実施 監視指導件数2,900件以上		
2	技術研修会	直接	医薬品等製造販売業者・製造業者・販売業者等の資質向上を図るため、研修会を実施 研修会1回開催予定		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
2	医薬品等安全対策事業		516 千円	203 千円	予算現額 203 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	医薬品類似商品安全対策	直接	医薬品等類似商品（いわゆる健康食品等）による健康被害を未然に防止するため、市販されている商品を試買し成分の試験を実施 成分試験15製品		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
3	医薬品適正使用・環境整備事業		3,440 千円	3,004 千円	予算現額 7,898 今回補正額 4,930 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ジェネリック医薬品使用促進事業	直接	後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進のため、県民への情報提供を実施 テレビ・ラジオCM1回以上		
2	薬局機能の高度化推進事業	委託	「薬剤レビュー」の研修の開催に加えて、実業務で「薬剤レビュー」を実施し、その効果と評価を行う。 （一社）長野県薬剤師会あるいは地域薬剤師会に事業の一部を委託		

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
4	医薬品取扱費	27,422 千円	142,231 千円	予算現額 3,452 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	国有ワクチン類の備蓄・供給	直接	国有ワクチン等の特殊なワクチン及び緊急治療用血清類を迅速に供給するため、これらワクチン等の備蓄及び供給体制の確保を実施 乾燥ボツリヌス抗毒素(ABEF型)県下2か所、乾燥ボツリヌス抗毒素(E型)県下1か所、乾燥ガスエソウマ抗毒素県下4か所に備蓄	
2	抗インフルエンザウイルス薬の備蓄	直接	新型インフルエンザ等の発生とまん延に備え、健康被害及び経済への影響を最小限にとどめるため、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄及び供給体制の確保を実施 286,200人分の抗インフルエンザウイルス薬(タミフルカプセル等全6品目)の備蓄	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
5	災害用医薬品等対策費	889 千円	889 千円	予算現額 889 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	医薬品及び衛生材料の確保	補助金 直接	・災害時に必要となる医薬品及び衛生材料を確保するため、備蓄に対する補助を実施 ・薬事管理課及び保健福祉事務所において、事故発生時の応急処置をするための医薬品を配備 支給対象2者、支給額計800千円予定	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
6	献血普及啓発事業	4,959 千円	4,959 千円	予算現額 4,959 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	啓発及び体験機会の提供	委託 直接	・若年層の目に触れ易いバナー広告を利用した広報 ・若年層対象にポスター募集やプロスポーツチームとタイアップした啓発 ・幅広く啓発を行うためにラジオによる啓発を実施 ・気軽に体験できるように献血場所を提供 ・関係団体等と連携(献血推進協議会開催、献血推進員(40人)による啓発) 献血体験キャンペーンの実施(県内4箇所)	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
7	菅平薬草栽培試験地管理事業	3,376 千円	3,523 千円	予算現額 16,387 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	菅平薬草栽培試験地管理事業	委託 直接	<ul style="list-style-type: none"> 希少優良種の保存・選抜のため、ダイオウの継承栽培を実施 試験地等で栽培した薬草の成分評価のため、環境保全研究所で試験検査を実施 来場者が快適に薬草に親しむ環境づくりのため、見本園、自然園及び研修棟等施設の整備・修繕を実施 県民への生薬の普及啓発のため、観察会等により試験地を活用 財源確保のため、ネーミングライツパートナーを確保 日常的な試験地整備及び来訪者への対応が必要なため管理を委託 薬草に関する正しい知識の普及のための研修会を1回開催予定	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
8	薬物乱用防止啓発事業	2,645 千円	2,642 千円	予算現額 2,643 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県薬物乱用対策推進協議会の運営	直接	長野県の薬物乱用意識の醸成のため、加盟団体を通じた啓発活動及び「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の実施 県下10カ所にて、街頭キャンペーンを実施予定	
2	薬物乱用防止指導員の活動	直接	地域での薬物乱用防止啓発推進のため、薬物乱用防止指導員を設置 薬物乱用防止指導員373名に活動を依頼	
3	薬物乱用防止指導員の活動	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、FM長野のラジオスポットを活用して集中的な啓発活動を実施 大学、専修学校、各種学校の学生指導担当者を対象に研修会を実施 若い世代への薬物乱用防止啓発のため、高等学校で薬物乱用防止教室を実施 高等学校での薬物乱用防止教室を20回実施予定	

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
9	毒物劇物安全対策費		1,410 千円	1,597 千円	予算現額 1,322 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	監視指導	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・保健衛生上の危害防止のため、毒物及び劇物取締法に基づき毒物劇物営業者等の登録・許可等の電算処理を実施 ・毒物劇物営業者等における毒物劇物の取扱い等の適正化のため、立入検査を実施 ・毒物劇物に関する適正な取扱いや保管管理の徹底を図るため、危害防止運動を実施 ・毒物劇物に関する安全意識の高揚を図り、保健衛生上の危害防止のため、毒物劇物事故対策研修会を実施 研修会1回開催予定		
2	空気呼吸器保守点検	直接	毒物劇物による事故等の有事に備えるため、保健所に主に配備した空気呼吸器の保守点検・空気の充填及び法令の規定による耐圧試験を実施 5か所、5本実施予定		
3	毒物劇物事故処理剤備蓄補助事業	補助金	毒物劇物の事故発生に伴う危害防止ため、毒物劇物事故処理剤備蓄に対する補助を実施 7ヶ所6品目の備蓄を補助		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
10	地域医療介護総合確保基金事業（医療分野）		2,668 千円	2,534 千円	予算現額 2,790 今回補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬剤師を活用した在宅医療研修会	補助金	在宅医療に対応できる薬剤師の資質向上を図るため、薬剤師に対する研修事業を実施 支給対象1者、支給額840千円		
2	薬剤師復職・就業支援事業	補助金	病院・薬局等における薬剤師を確保するため、離職している薬剤師の復職・就業を支援する事業を実施 支給対象1者、支給額1,950千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
11	薬局価格高騰対策支援事業		0 千円	90,180 千円	予算現額 86,700 今回補正額 86,700 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	薬局価格高騰対策支援事業	交付金	薬局が原油価格等の高騰の影響を受けながらも安定的なサービス提供を継続できるよう、光熱費等の価格高騰分の一部を助成 1施設当たり70千円を支給		